

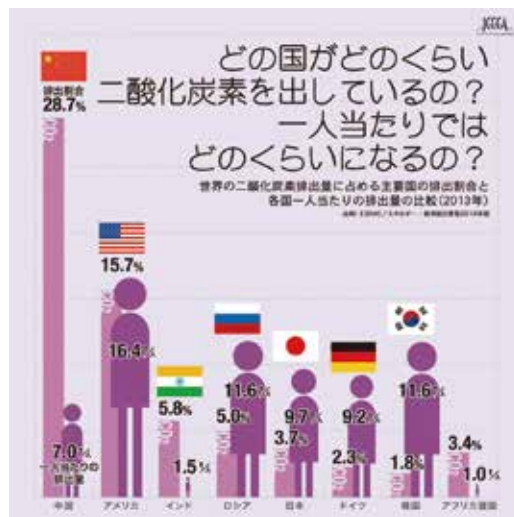
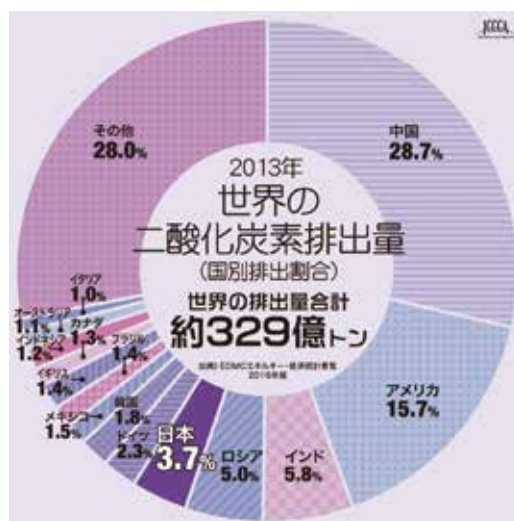
世界と日本の取組み

世界のCO₂排出量

2013年の世界のCO₂排出量は約329億トンです。世界で最もCO₂を出している国は中国で、2番目はアメリカ、日本は5番目です。

一人当たりのCO₂排出量

世界で一番CO₂を出しているのは中国ですが、国民一人当たりの量で比較してみると1番はアメリカで、日本は4番目です。アメリカや日本のような先進国は、国民一人当たりの排出量が多く、中国やインドのような途上国は少ないといった傾向があります。しかし、途上国の経済が発展すれば、その排出量は増え、ますます地球温暖化が進むことが心配されています。



出典：JCCCA ホームページ

世界の流れ	
1950以降 ↓ 1970頃	石炭・石油などを大量に消費するようになる ↓ 地球温暖化が世界で注目され始める
1972	国連人間環境会議 (ストックホルム会議) を開催 世界で最初の環境をテーマにした国際会議
1985	地球温暖化に関する初めての世界会議 (フィラハ会議) を開催 二酸化炭素による地球温暖化の問題が大きく取り上げられるようになった。
1988	気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 設立 各国の研究者が地球温暖化問題について話し合った。
1990	IPCC第1次評価報告書を発表
1992	気候変動枠組条約 (UNFCCC) がまとまる 国連環境開発会議 (地球サミット) がブラジル・リオデジャネイロで開催され、持続可能な開発の実現のためにアジェンダ21が策定された。 COP1をドイツ・ベルリンで開催
1995	IPCC第2次評価報告書を発表
1997	COP3が日本・京都で開催され、京都議定書がまとまる 先進国を中心に世界の国々の代表が集まって、温室効果ガスを減らすために話し合った。
2001	IPCC第3次評価報告書を発表
2005	京都議定書の発効
2007	IPCC第4次評価報告書を発表
2008～2012	京都議定書 第1約束期間
2008	G8北海道洞爺湖サミットを開催 2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を少なくとも今の半分に減らすことを提案し、合意された。
2010	COP16をメキシコ・カンクンで開催
2011	COP17を南アフリカ共和国・ダーバンで開催
2012	COP18をカタール・ドーハで開催
2013	COP19をポーランド・ワルシャワで開催 IPCC第5次評価報告書 (第1作業部会) 発表
2014	COP20をペルー・リマで開催 IPCC第5次評価報告書 (第2, 3部会) 発表
2015	COP21をフランス・パリで開催 「パリ協定」が採択。
2016	「パリ協定」が発行。 COP22をモロッコ・マラケシュで開催

参考：環境省ホームページ

世界と日本の取組み

1992年「地球サミット」

1992年にブラジルのリオデジャネイロで「地球サミット」が開催され、世界の国々が協力して地球温暖化に取り組むための約束「気候変動枠組条約」が結ばれました。

1995年「COP1」ドイツ・ベルリン

1995年に、この約束に参加する国々が集まって話し合いを行う最初の会議「COP1」がドイツのベルリンで開催され、これ以降COPは毎年1回開催されています。

1997年「COP3」日本・京都

1997年に日本の京都で開催された「COP3」では「京都議定書」がまとめられ、日本やEUなどの先進国が2008年から2012年の第1約束期間に、1990年に出していた温室効果ガスの量より少なくとも5.2% (日本は6%) 減らす約束をしました。

2011年「COP17」南アフリカ共和国・ダーバン

京都議定書が終了後の2013年からの新しい第2約束期間について話し合いましたが、意見はまとまりませんでした。

日本やロシア、カナダは、温室効果ガスを減らす義務を一部の国だけが負うのはおかしいと主張して、第2約束期間を設けること